

▶ 製品名をクリックすると、各ページに移動します

### 橋梁用厚板

- ▶ EXPAL<sup>®</sup> \_\_\_\_\_ 7- 1
- ▶ LALAC<sup>®</sup>-HS \_\_\_\_\_ 7- 2
- ▶ SBHS \_\_\_\_\_ 7- 3

### 橋梁関連製品

- ▶ メタルロード工法 \_\_\_\_\_ 7- 4
- ▶ 橋梁用二重鋼管ダンパー<sup>TM</sup> \_\_\_\_\_ 7- 5
- ▶ ペイントガードCV \_\_\_\_\_ 7- 6
- ▶ リバーブリッジ<sup>®</sup> \_\_\_\_\_ 7- 7
- ▶ リバーデッキ<sup>®</sup> \_\_\_\_\_ 7- 8
- ▶ 母材打撃ハンマーピーニングによる溶接継手の疲労強度向上工法 \_\_\_\_\_ 7- 9
- ▶ 鋼製支承 \_\_\_\_\_ 7- 10
- ▶ HDRex (高性能型高減衰ゴム支承) \_\_\_\_\_ 7- 11
- ▶ DRB支承 (ディスク型高面圧ゴム支承) \_\_\_\_\_ 7- 12
- ▶ 水平支承 \_\_\_\_\_ 7- 13
- ▶ DCストッパー (Damage Control Stopper) \_\_\_\_\_ 7- 14
- ▶ マウラー・ジョイント \_\_\_\_\_ 7- 15
- ▶ マウラー・スライベル・ジョイント \_\_\_\_\_ 7- 16
- ▶ LSD \_\_\_\_\_ 7- 17
- ▶ Uリブ \_\_\_\_\_ 7- 18

### 高欄

- ▶ 鋼製橋梁用防護柵 \_\_\_\_\_ 7- 19
- ▶ アルミ製橋梁用防護柵 (キャプロア) \_\_\_\_\_ 7- 20

### 環境関連

- ▶ EPP工法 (塗膜剥離剤) \_\_\_\_\_ 7- 21

# EXPAL<sup>®</sup>

塗装寿命延長鋼

▶製品カタログ

JFE スチール

厳しい腐食環境下での塗装鋼構造物のライフサイクルコストを低減する鋼材です。

## 特長

### ▶塗膜下の鋼材腐食を抑制

エッジ部、塗装のキズ部などの塗装の弱い部分から発生する錆の成長を抑制します。

### ▶ライフサイクルコストを低減

厳しい環境における錆による塗装の塗替え期間を延長します。

### ▶環境にやさしい

現地での塗装塗替えの回数が減ることにより、大気放散されるVOCの総量を低減します。

## 技術情報

### ■ 機械的性質

種類の 記号	引張試験							衝撃試験		
	降伏点または耐力 N/mm <sup>2</sup>				引張 強さ N/ mm <sup>2</sup>	伸び			試験 温度 ℃	シャルピー 吸収 エネルギー J
	鋼材の厚さ mm					厚さ mm	試験 片	%		
	6 ≤ t ≤ 16	16 < t ≤ 40	40 < t ≤ 75	75 < t ≤ 100						
JIS G 3101 SS400 EP	≥245	≥235	≥215	≥215	400 ~ 510	6 ≤ t ≤ 16 16 < t ≤ 50 40 < t	1A号 1A号 4号	≥17 ≥21 ≥23	-	-
JIS G 3106 SM400A EP	≥245	≥235	≥215	≥215	400 ~ 510	6 ≤ t ≤ 16	1A号	≥18	-	-
JIS G 3106 SM400B EP						16 < t ≤ 50	1A号	≥22	0	≥27
JIS G 3106 SM400C EP						40 < t	4号	≥24	0	≥47
JIS G 3106 SM490A EP	≥325	≥315	≥295	≥295	490 ~ 610	6 ≤ t ≤ 16	1A号	≥17	-	-
JIS G 3106 SM490B EP						16 < t ≤ 50	1A号	≥21	0	≥27
JIS G 3106 SM490C EP						40 < t	4号	≥23	0	≥47
JIS G 3106 SM490YA EP	≥355	≥355	≥335	≥325	490 ~ 610	6 ≤ t ≤ 16	1A号	≥15	-	-
JIS G 3106 SM490YB EP						16 < t ≤ 50	1A号	≥19	0	≥27
						40 < t	4号	≥21		
JIS G 3106 SM520B EP	≥365	≥355	≥335	≥325	520 ~ 640	6 ≤ t ≤ 16	1A号	≥15	0	≥27
JIS G 3106 SM520C EP						16 < t ≤ 50	1A号	≥19		
						40 < t	4号	≥21		≥47
JIS G 3106 SM570 EP	≥460	≥450	≥430	≥420	570 ~ 720	6 ≤ t ≤ 16 16 < t 20 < t	5号 5号 4号	≥19 ≥26 ≥20	-5	≥47
JIS G 3140 SBHS500 EP	≥500	≥500	≥500	≥500	570 ~ 720	6 ≤ t ≤ 16 16 < t 20 < t	5号 5号 4号	≥19 ≥26 ≥20	-5	≥100

各耐ラメラテア鋼 (-Z15S、-Z25S、-Z35S)<sup>\*</sup>、予熱低減型圧延鋼材 (-EX)、板厚40mm超については、降伏点一定鋼 (-H) を指定できます。

\*JIS G 3199に従って板厚方向に引張試験を実施し、絞り値とS規定値を保証します。

# LALAC<sup>®</sup>-HS

高塩分対応型高耐候性鋼

▶製品カタログ

JFE スチール

海岸近傍・凍結防止塩散布環境下・工業地域など、高塩分環境下で無塗装使用が可能な耐候性鋼材です。

## 特長

### ▶塩分に強い

0.27mdd程度の飛来塩分環境でも無塗装使用が可能な耐候性鋼です。

### ▶ライフサイクルコストを低減

無塗装化により塗装塗替えを必要としません。

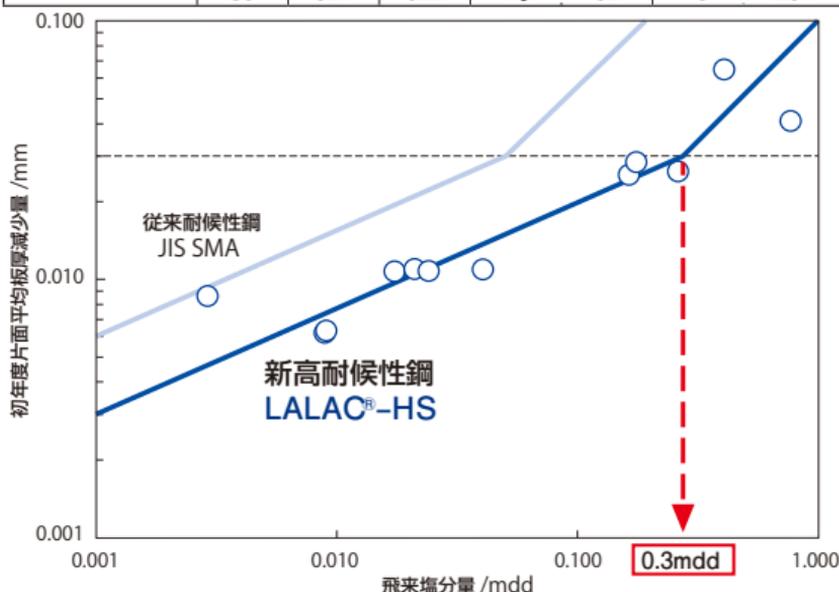
### ▶適合する塩分環境を予測

鋼材をご提供する際、使用する環境の飛来塩分量に適合するか、JFE スチールの暴露データから予測した結果をご提供できます。

## 技術情報

### ■ 機械的性質

種類の 記号	板厚 (mm)	引張試験				シャルピー衝撃試験	
		降伏点 または 耐力 (N/mm <sup>2</sup> )	引張 強さ (N/mm <sup>2</sup> )	伸び (%)		試験 温度 (°C)	吸収 エネルギー (J)
				試験片	伸び(%)		
LALAC490C-HS	12	396	552	1A号	25	0	193
	25	471	549	1A号	31	0	312
	50	422	517	4号	39	0	344
LALAC490C-HS	12	595	684	1A号	28	-5	235
	25	575	682	1A号	39	-5	218
	50	521	622	4号	32	-5	291



LALAC<sup>®</sup>-HS は、0.3mdd 程度の塩分環境まで適用可能です\*。

\*あくまで目安であり、厳密には、弊社で蓄積した国内各地での暴露データを元に当該地の気温、湿度、飛来塩分量を用いた腐食予測式により、適用可否を判定し結果をご提供します。

# SBHS

JIS G 3140 橋梁用高降伏点鋼板

JFE スチール

材料強度が高く、かつ、溶接などの施工性改善によりコストを低減できる鋼材です。

## 特長

### ▶ 橋梁の鋼重低減

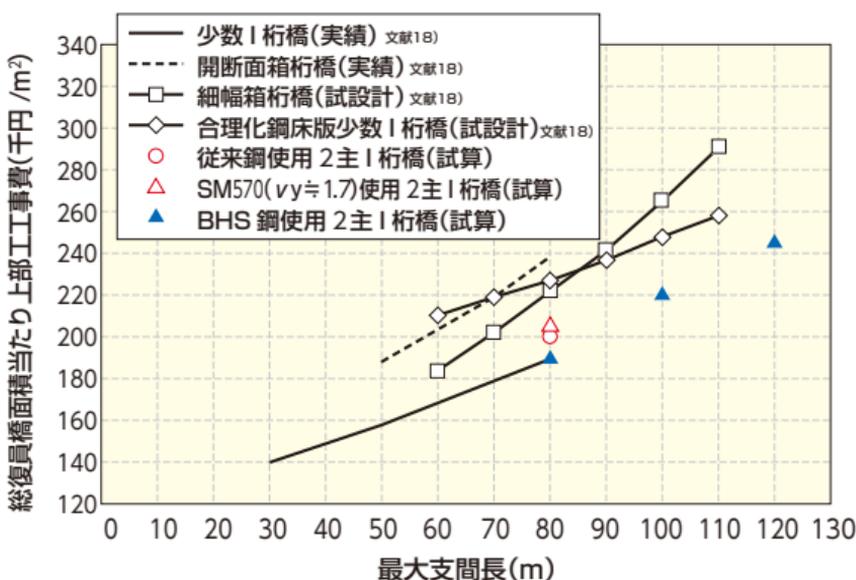
高強度のため、薄肉化、少数主桁などの構造合理化が可能です。

### ▶ 製作性・施工性が向上

溶接の予熱省略や低減が可能で、かつ優れた溶接性を確保した鋼材です。

## 技術情報

■ 他の橋梁とのコスト比較 土木学会論文集 F, Vol.63, No.2, 2007.4



日本橋梁建設協会

橋梁

■ SBHS、従来鋼材(高張力鋼含む)比較表

強度区分		490N/mm <sup>2</sup> 級鋼		570N/mm <sup>2</sup> 級鋼		780N/mm <sup>2</sup> 級鋼		
		従来鋼 SM 490Y SMA 490W	SBHS 400 SBHS 400W	従来鋼 SM 570 SMA 570W	SBHS 500 SBHS 500W	従来鋼 HT780 <sup>※</sup>	SBHS 700	SBHS 700W
強度	降伏点 (N/mm <sup>2</sup> )	≥335	≥400	≥430	≥500	≥685	≥700	≥700
	降伏点一定	△	○	△	○	△	○	○
加工性 溶接性	高靱性 (C材:0°C 47J)	△	○	△	○	△	△	
	予熱温度低減	△	○	△	○	△	○	○
耐食性	耐候性	○	○	○	○	—	—	○
		(SMA490W)	(SBHS 400W)	(SMA 570W)	(SBHS 500W)			

# メタルロード工法

多柱式立体ラーメン鋼製栈道橋

JFEシビル

主に中山間部の急斜面・狹隘地での道路建設に適した、多柱式立体ラーメン構造の耐震性能を有する工法です。(レベル2地震に対応)

## 特長

### ▶ 現道交通を確保しながらの施工が可能

手延べ式施工により、片側交互通行での施工を行います。また、現道掘削・擁壁施工時は、メタルロード上への交通切替も可能です。(下図 施工事例)

### ▶ 大幅な工程の短縮が可能

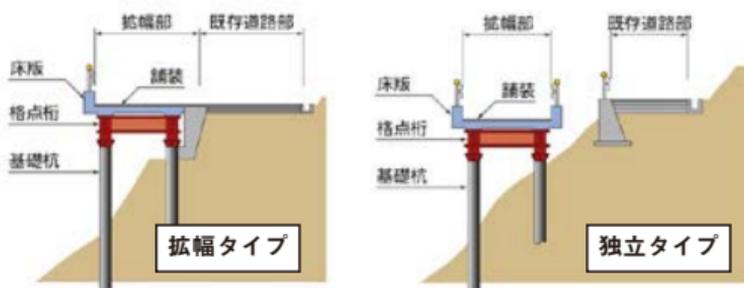
杭と桁が剛結された上下部一体構造で、急峻な地形においても大掛かりな仮設が不要なため施工期間を短縮できます。

### ▶ 地形改変の少ない環境にやさしい工法

大規模な掘削や埋戻しが不要なので、早期に自然が復元されるので環境保全に優れています。(国立公園や都市公園内事例あり)

## 技術情報

### ■ 構造タイプ



橋梁

### ■ 施工事例(メタルロード上への交通切替)

- ① 現道を確保し、メタルロードを施工
- ② 車線をメタルロード上へ車線を切替え、現道から擁壁を施工
- ③ 道路拡幅完成



# 橋梁用二重鋼管ダンパー™

座屈補剛ブレース

JFEシビル

軸降伏型(座屈拘束型)の鋼製ダンパーで、橋梁の耐震性能を向上させる工法です。

## 特長

### ▶ 安定したエネルギー吸収性能を有する

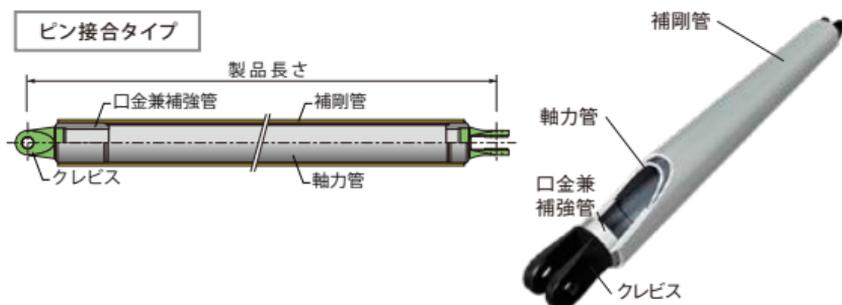
軸力管を補剛することで圧縮時にも座屈することなく塑性変形し、安定したエネルギー吸収性能を有する。

### ▶ 鋼材のみの軽量・コンパクトな設計

鋼材のみで構成されており、軽量・コンパクトで、速度や温度への依存性が極めて小さく、適用性が高い。

## 技術情報

### ■ 部材表(一例)



軸力管鋼種	部材記号 (品番)	降伏 軸力 (kN)	軸力管		補剛管		製品 限界長さ (mm)	クレビス 呼び (mm)
			サイズ (mm)	断面積 (cm <sup>2</sup> )	鋼種	サイズ (mm)		
低降伏点鋼 【JFE- LY225S】	P225-01	517	φ130.0× 6.5	25.22	STK400	φ165.2× 6.0	3,460	φ 40
	P225-02	942	φ175.0× 8.8	45.95	STK400	φ216.3× 8.2	4,740	φ 55
	P225-03	1,290	φ205.0×10.3	63.00	STK400	φ241.8× 6.2	3,670	φ 70
	P225-04	1,470	φ219.1×11.0	71.91	STK400	φ267.4×12.7	7,040	
	P225-05	2,290	φ273.1×13.7	111.6	STK400	φ318.5×10.3	6,250	
低降伏点鋼 【JFE- LY100S】	P100-01	327	φ165.2× 8.3	40.91	STK400	φ190.7× 5.3	4,510	φ 40
	P100-02	402	φ177.8× 9.5	50.23	STK400	φ216.3×10.3	7,230	φ 55
	P100-03	500	φ177.8×12.0	62.51	STK400	φ216.3×10.3	6,290	
	P100-04	602	φ216.3×11.7	75.20	STK400	φ241.8× 6.2	5,190	
	P100-06	802	φ241.8×14.0	100.2	STK400	φ267.4× 9.3	6,850	
	P100-08	1,000	φ273.1×15.5	125.4	STK400	φ318.5×14.3	9,780	φ 90
	P100-10	1,200	φ273.1×18.8	150.2	STK400	φ318.5×14.3	8,750	

※降伏軸力は、軸部断面積に基準強度を乗じた値を表記しております。

※低降伏点鋼(JFE-LY100S、LY225S)の基準強度は、大臣認定のF値にない、それぞれ80N/mm<sup>2</sup>、205N/mm<sup>2</sup>としています。

※製品限界長さはピン間長さになります。

※製品限界長さを超える場合や上記組合せ以外の場合は、お問合せ下さい。

※軸力管が低降伏点鋼の場合、納期は事前にお問合せ下さい。

# ペイントガードCV

コンクリート剥落防止塗装 ペイントガードCV

JFEシビル

塗料の中に繊維を入れる事で、本来持っている防食機能に加え、コンクリート剥落防止機能を追加した商品です。

## 特長

### ▶低コスト化

劣化抑制機能と剥落防止機能に特化した、コンクリート補修の低コスト工法です。

### ▶施工性の良さ

従来工法に比べ作業工程が少なく、短工期な施工が可能です。

### ▶安全性

首都高速の剥落防止編(H18)の評価基準(B種)の性能試験をクリアした商品です。

## 技術情報

### ■ 施工方法

ペイントガードCVは、優れた施工性により、従来工法に比べ少ない作業工程で、スピーディな施工が可能です。



Step 1 下地処理

(施工箇所により高圧洗浄) (ローラーまたは吹付け)



Step 2 下塗プライマー



Step 3 中塗剥落防止材

(配り: コテまたは吹付け) (ローラーまたは吹付け)



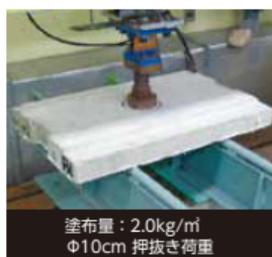
Step 4 上塗トップコート

(ローラーまたは吹付け)

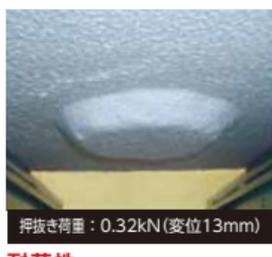
### ■ 耐荷性押抜き試験

鉄筋腐食膨張に伴う強制変位と、剥落するコンクリートの自重作用を再現し、耐荷性能と伸び性能を評価しました。

(首都高速橋梁構造物設計要領 剥落防止工の評価基準B種相当)



塗布量: 2.0kg/m<sup>2</sup>  
φ10cm 押抜き荷重



押抜き荷重: 0.32kN (変位13mm)

#### 耐荷性

φ10cm当たりの押抜き荷重0.3kN以上



最終破断 (変位25mm)

#### 伸び性能

押抜き試験で10mm以上の変位

# リバーブリッジ®

鋼コンクリート合成床版橋

▶製品カタログ

JFE エンジニアリング

河川改修に伴う橋梁架替工事等で、従来工法では不可能な低桁高を実現します。連続桁にも対応可能です。

## 特長

### ▶低桁高

あらゆる構造形式(PC桁、鋼桁)のなかで最も低い桁高を実現します。

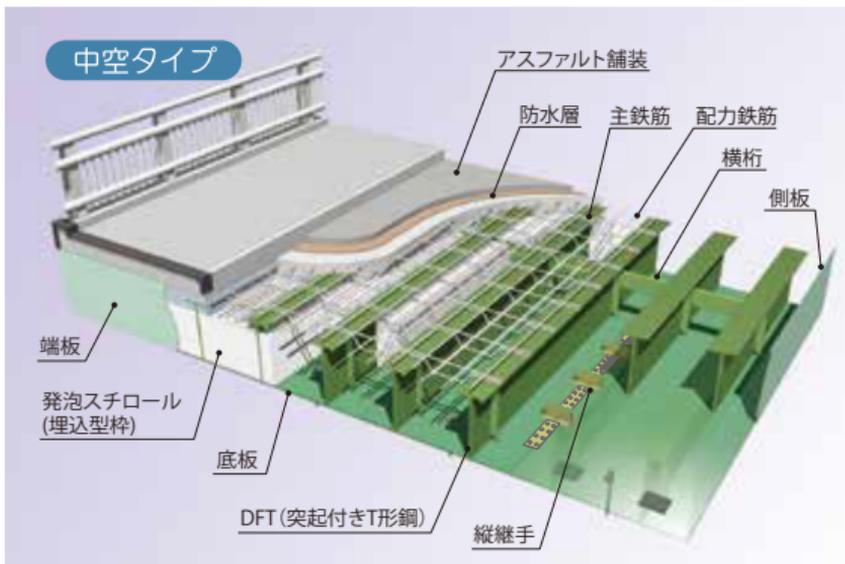
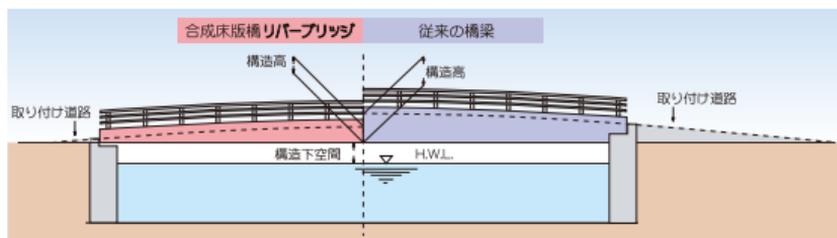
### ▶迅速施工

底板が床版型枠を兼ねるため工事の安全性も高く、短工期施工が可能です。

### ▶デザイン性

低構造高がもたらすスレンダーな外観に加え効果的な修景設計も可能です。

## 技術情報



橋梁

# リバーデッキ®

鋼コンクリート合成床版

▶製品カタログ

JFE エンジニアリング

突起付きT形鋼 (DFT) を底鋼板の補剛材兼コンクリートジベルとして使用する合成床版です。

## 特長

### ▶高い耐久性

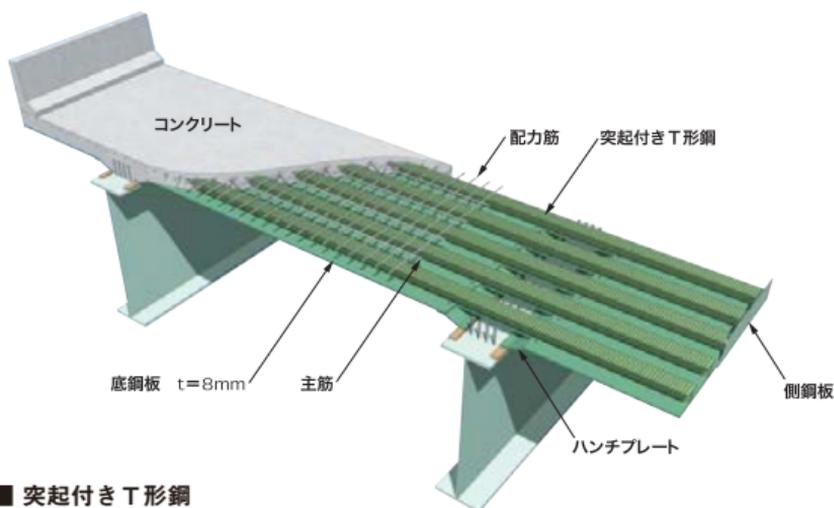
DFTがずれ止め兼補剛材として機能するため高い耐荷力を有し、長支間への対応が可能です。

### ▶高い施工性

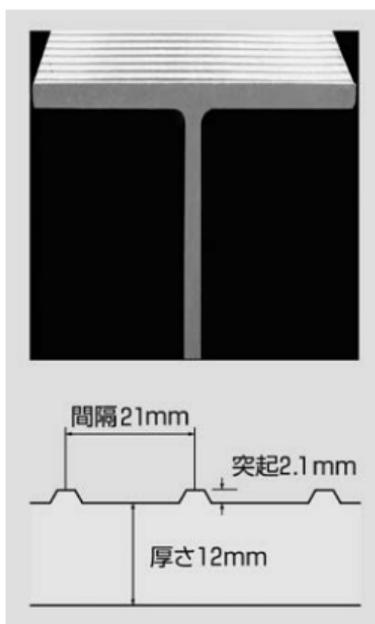
軽量でシンプルな構造であり、底鋼板が型枠を兼用するため、現場作業の省力化により工期短縮が可能です。

## 技術情報

### ■ リバーデッキ構造概要図



### ■ 突起付きT形鋼



※図のフランジ厚は12mmですが、板厚8mmも可能です。

# 母材打撃ハンマーピーニングによる溶接継手の疲労強度向上工法

JFE エンジニアリング

鋼構造物の溶接継手の疲労強度を向上させるピーニング技術です。

## 特長

### ▶ 疲労耐久性向上

汎用エアツールを用いて、溶接部近傍を打撃することで、溶接継手部の疲労耐久性を向上させることができる技術です。

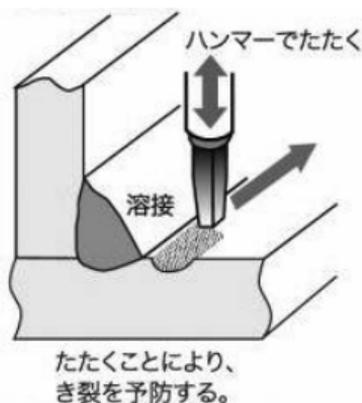
### ▶ 安定した効果

従来のピーニングで発生した溶接部への巻込み傷がないため、安定した疲労強度向上が得られる。

### ▶ 打撃痕による品質管理

従来のピーニングでは難しかった打撃痕による品質管理が可能。

## 技術情報



耐久性が JSSC 2 等級以上 UP!  
既設橋の長寿命化も可能

# 鋼製支承

BP-B支承(密閉ゴム支承板支承)他多数

日本鑄造

固定・可動形式, 多点固定形式の橋梁に対応した支承です。

## 特長

### ▶優れた対応力

BP-B支承をはじめBP-A・ピン・ピボット支承などあらゆるタイプの鋼製支承をラインナップ。

## 技術情報

### ■ 支承外觀図



BP-B 支承(固定)



ピン支承(固定)



ピボット支承(固定)



BP-B 支承(可動)



高硬度ピン  
ローラー支承(可動)



高硬度ピボット  
ローラー支承(可動)

### ■ その他鋼製支承

- ・2方向BP-B支承
- ・BP-A支承
- ・モノレール用支承
- ・1本ローラー支承
- ・線支承
- ・ウインド支承

※支承寸法は別途設計による

# HDRex (高性能型高減衰ゴム支承)

高減衰ゴム支承

日本鑄造

従来品と比較し、減衰性能と温度依存性、危機耐性を向上させた新しい高減衰ゴム支承です。

## 特長

### ▶ 減衰性能の向上

特殊ゴム材料を用いることで、従来の超高減衰ゴム支承 (HDR-S) と比べ、減衰性能が大幅に向上します。

### ▶ 温度依存性の向上

低温度域でのせん断ばねの変化率 (依存性) を天然ゴム支承と同程度にまで向上しました。寒冷地での適用が可能です。

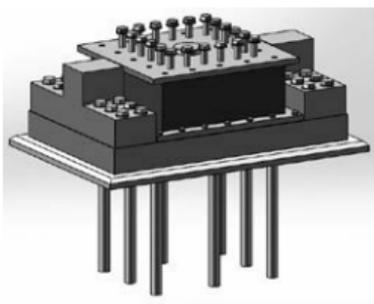
### ▶ ハードニング効果の低減

大きなせん断ひずみ領域でのばね硬化を緩和。支承部及び下部構造への地震時応答の低減が期待できます

## 技術情報

■ NETIS登録技術:CB-210011-A

■ 支承外観図



一方向型(サイドブロック付)



二方向型(サイドブロック無)

※ 支承寸法は別途設計による

# DRB支承 (ディスク型高面圧ゴム支承)

固定・可動ゴム支承

日本鑄造

従来のゴム支承よりもコストを抑え、コンパクトな設計が可能です。

## 特長

### ▶ 高面圧化を実現

許容圧縮応力度 $25\text{N}/\text{mm}^2$ を実現。従来のゴム支承に比べコンパクトな支承設計が可能。

### ▶ スムーズな回転追随

ディスクベアリング構造により回転変形にスムーズに追随。

### ▶ より確かな品質

疲労耐久繰返し回数200万回以上を達成、オゾン劣化による損傷は皆無。

## 技術情報

### ■ NETIS登録技術:KK10027-VE

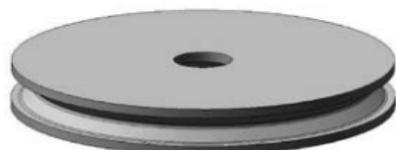
### ■ 建設技術審査証明取得

(建技審査第1505号 平成27年5月29日  
一般財団法人土木研究センター)

※審査証明取得法人は日本鑄造(株)



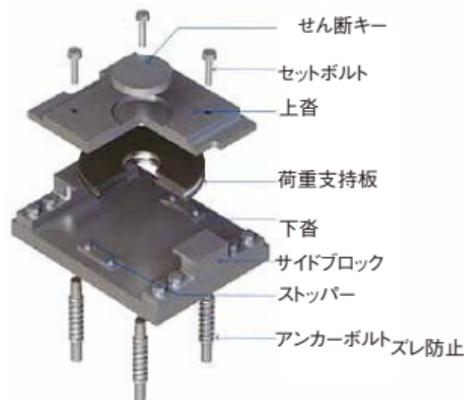
### ■ 支承形状外観



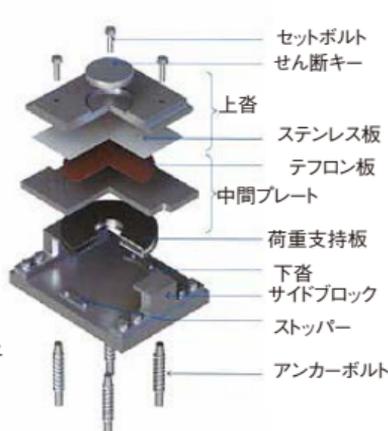
DRB (荷重支持板)  
鉛直反力500kN ~ 15000kNに対応

### 建設技術審査証明事業

(土木系材料・製品・技術、道路保安技術)  
建技審査 第1505号  
(一財)土木研究センター



固定支承



可動支承

※標準形状あり

(適用範囲: 鉛直反力500kN ~ 15000kN)

本製品は住友理工(株)、(株)川金コアテックとの共同開発製品である。

# 水平支承

水平支承

日本鑄造

常時・地震時を問わず水平力を支持する支承です。

## 特長

### ▶ 支点条件に応じた個別設計

吊橋や斜張橋，耐震補強などで水平力の分担が必要になった場合，水平支承の設計対応が可能。

## 技術情報

### ■ 支承外観図



2方向固定型

※ 支承形状および支承寸法は別途設計による

# DCストッパー (Damage Control Stopper)

水平力分担装置 (支承部損傷制御装置)

日本铸造

既設橋支承部を壊れにくく、壊れても粘り強く壊れるようコントロールする水平力分担装置です。

## 特長

### ▶ 最大耐力が確認された水平力分担装置

最大耐力を確認しているため、レベル2地震動により生じる水平力を確実に支持します。

### ▶ 高じん性鋳鋼の適用 (保有耐力の階層化)

降伏点と引張強さの上限値と下限値を限定した高じん性鋳鋼の適用で、明確な保有耐力の階層化を実現します。

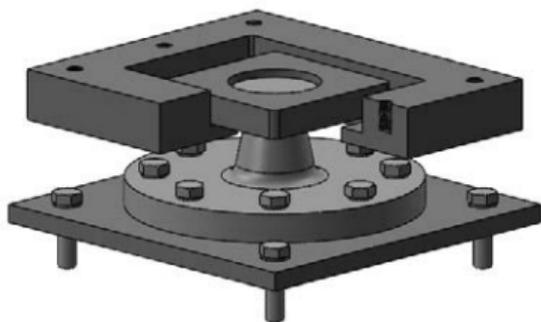
### ▶ 速やかに復旧

想定と異なる地震動により本体機能が失われても、構成部材により段差を防止することで速やかな復旧に寄与します。

## 技術情報

■ 阪神高速道路 (株) との共同研究開発

■ 外観図



橋  
梁

※DCSTを取り付けるブラケット等の設計水平力は終局壊耐力をご使用下さい

# マウラー・ジョイント

道路橋用伸縮装置

日本鑄造

ドイツのマウラー社で開発された道路橋用伸縮装置（一方向型）です。

## 特長

### ▶ 一方向移動可能

橋軸方向の変位に対して使用できる。

### ▶ 水密性が良好

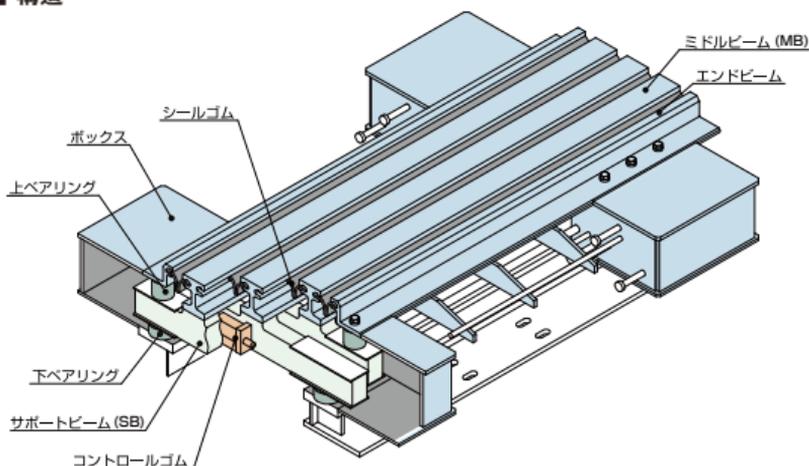
型鋼にシールゴムを組合せた水密構造、シールゴムは路面上から取替えが可能。

### ▶ 広範囲に適用可能

小～大スパン橋梁、鋼橋・PCおよびRC橋、斜橋、曲線橋に適用可能。

## 技術情報

### ■ 構造



### ■ 型式

(単位: mm)

型式	シールゴム数	橋軸方向設計移動可能量
E-80	1	80 (± 40)
E-160	2	160 (± 80)
E-240	3	240 (± 120)
E-320	4	320 (± 160)
E-400	5	400 (± 200)
E-480	6	480 (± 240)
E-560	7	560 (± 280)
E-640	8	640 (± 320)
E-720	9	720 (± 360)
E-800	10	800 (± 400)

# マウラースイベル・ジョイント

道路橋用伸縮装置

日本鑄造

ドイツのマウラー社で開発された道路橋用伸縮装置（全方向対応型）です。

## 特長

### ▶ 全方向移動可能

橋軸直角方向の変位を許容したい場合にも設計上特別の配慮をすることなく使用できる。

### ▶ 水密性が良好

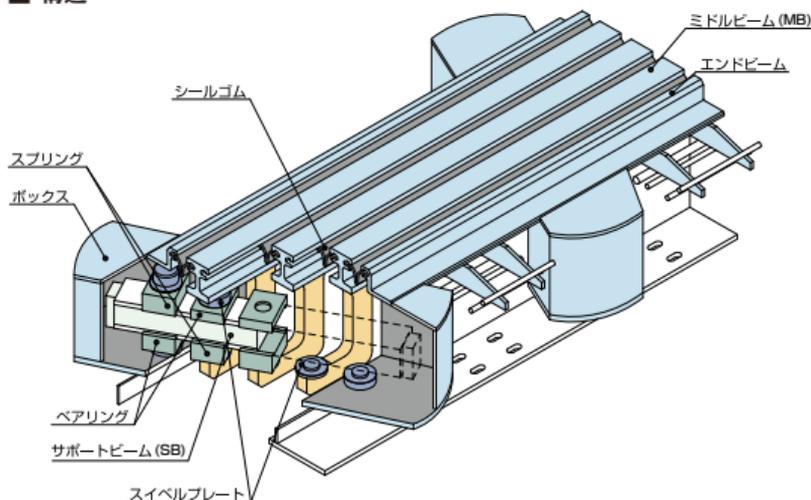
型鋼にシールゴムを組合せた水密構造、シールゴムは路面上から取替えが可能。

### ▶ 広範囲に適用可能

小～大スパン橋梁、鋼橋・PCおよびRC橋、斜橋、曲線橋に適用可能。

## 技術情報

### ■ 構造



### ■ 型式

(単位:mm)

型式	シールゴム数	橋軸方向設計移動可能量	橋軸直角方向設計移動可能量
ES-160	2	160 (± 80)	160 (± 80)
ES-240	3	240 (± 120)	240 (± 120)
ES-320	4	320 (± 160)	320 (± 160)
ES-400	5	400 (± 200)	400 (± 200)
ES-480	6	480 (± 240)	480 (± 240)
ES-560	7	560 (± 280)	560 (± 280)
ES-640	8	640 (± 320)	640 (± 320)
ES-720	9	720 (± 360)	720 (± 360)
ES-800	10	800 (± 400)	800 (± 400)
ES-880	11	880 (± 440)	880 (± 440)
ES-960	12	960 (± 480)	960 (± 480)
ES-1040	13	1040 (± 520)	1040 (± 520)
ES-1120	14	1120 (± 560)	1120 (± 560)
ES-1200	15	1200 (± 600)	1200 (± 600)

# LSD

LENS型せん断パネルダンパー

日本鑄造

橋梁を大地震から守る制震デバイスです。

## 特長

### ▶優れた制震性能

両面凹レンズ形状とパネル材質(低降伏点鋼材LY材)が塑性領域を  
広範囲に確保。

### ▶適用箇所

鉛直支承(レベル1地震時固定)と併用しブラケットを介して取付け、  
橋軸方向、橋軸直角方向に設置可能。

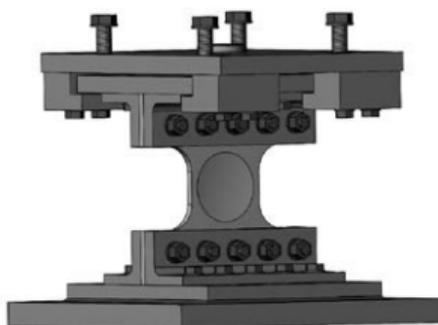
### ▶経済性

溶接構造のないシンプルな構造で耐震補強が可能、震災後はLENSパ  
ネルのみ交換。

## 技術情報

■ NETIS登録技術:KT110086-A

■ LSDの構造



■ ラインナップ

型式	LY100					
	type12-6	type18-9	type21-10.5	type24-12	type27-13.5	type30-15
設計反力	220kN	510kN	690kN	900kN	1150kN	1420kN

型式	LY225					
	type12-6	type18-9	type21-10.5	type24-12	type27-13.5	type30-15
設計反力	280kN	630kN	860kN	1120kN	1420kN	1760kN

# Uリブ

鋼床版用U形鋼

JFE 建材

近年、橋梁の鋼床版用縦リブは、経済性の面から開断面形式にかわって閉断面のUリブが多く採用されております。

## 特長

### ▶優れた断面性能と経済性

- ・リブの剛性が大きく、荷重配分が良好です。
- ・鋼床版の軽量化が可能です。

### ▶均一で安定した品質

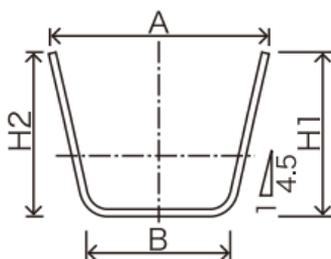
- ・熱延鋼帯から一貫した連続冷間ロール成形法で製造するため、安定した品質と長尺製品が量産・供給可能です。

## 技術情報



## ■仕様

呼称記号	呼称寸法	断面積 (cm <sup>2</sup> )	単位質量 (kg/m)	重心位置 (cm)	断面二次モーメント (cm <sup>4</sup> )
U-B-2	320 × 240 × 6-40	40.26	31.6	8.86	2460
U-B-3	24.1 × 242 × 8-40	53.90	42.3	8.99	3315
U-C-2	320 × 260 × 6-40	42.19	33.1	9.91	3011
U-C-3	324.1 × 262 × 8-40	56.47	44.3	10.03	4055



# 鋼製橋梁用防護柵

橋梁用ビーム型防護柵

JFE 建材

強度に加え周辺環境に調和する機能性・デザイン性をもった橋梁用防護柵です。

## 特長

### ▶ 地域の景観や特性にマッチする形状

橋梁全体のイメージから支柱にビルトH・角パイプ、横梁に丸パイプ・角パイプ、更にパネルタイプが選択可能

### ▶ 多様な表面処理の選択が可能

溶融亜鉛めっき仕上げ、溶融亜鉛めっきに焼付塗装の重防食仕上げ

## 技術情報



# アルミ製橋梁用防護柵 (キャプロア)

橋梁用ビーム型防護柵

JFE 建材

アンカー定着方式のため新設、補修・改修に対応可能な橋梁用防護柵です。

## 特長

### ▶ デザイン性

出来る限りスリムな横梁と支柱を実現しました。

### ▶ 合理性

横梁に強固な楕円形状を用いることにより、支柱への負担を軽減し合理的なバランスを実現しました。

### ▶ 眺望性

個々の部材は細く、大きな突起物もないため高い眺望性を実現しました。

### ▶ 安全性・親和性

ボルト位置にも配慮した設計で、歩行者にとっても高い安全性・親和性を実現しました。

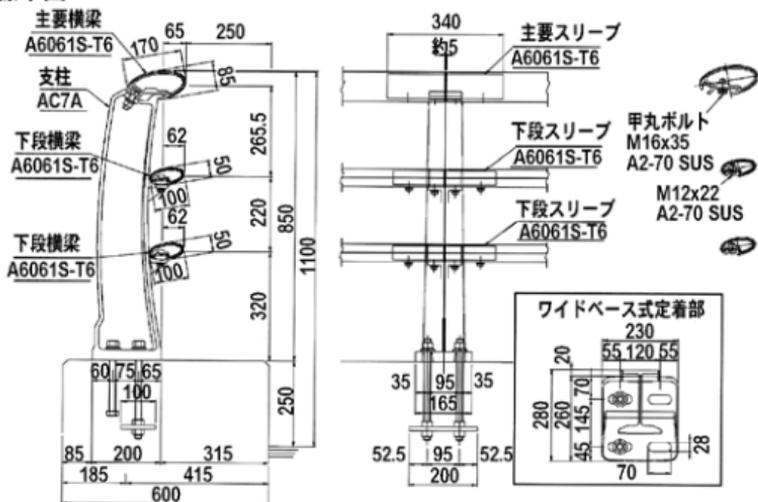
## 技術情報

### ■ 施工写真



橋梁

### ■ 標準図



# EPP工法 (塗膜剥離剤)

EPP工法 (エコ・ペイント・ピーリング工法)

JFE エンジニアリング

水性塗膜剥離剤を使用した、安全で使いやすく経済的な塗膜剥離工法です。NETIS登録番号:KT-150081-VE

## 特長

### ▶安全で安心

シンナーなどの溶剤を含まない水性一液塗料剥離剤を使用していますので、これまでの剥離剤と比較して、安全に作業できます。

### ▶後処理が容易

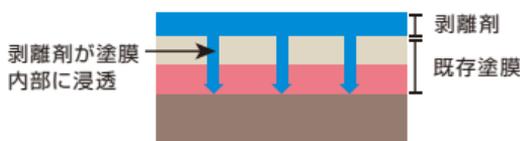
ブラストのようなダスト処理の必要がありません。また、使用用具は水で洗い流すことができ、処理が容易です。

### ▶使い方が簡単

剥離剤を既存の塗装面に塗布するだけ。あとは自然に塗膜が持ち上がり、きれいに分離します。

## 技術情報

### ■ 第1段階

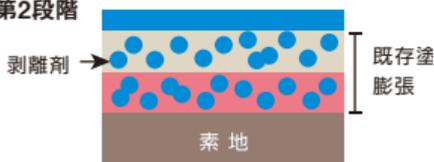


本剥離剤を既存塗膜に塗布すると、塗膜に浸透していき、塗膜の化学結合を破壊します。

●剥離剤の標準塗布量は500 $\mu$ m (500g/m<sup>2</sup> (ロスを含まず))です。

但し、実際の塗布量については各現場にて500 $\mu$ m ~ 1,000 $\mu$ mの範囲で確認することを推奨いたします。

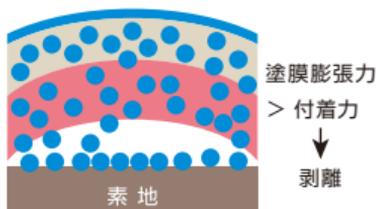
### ■ 第2段階



浸透した剥離剤は、塗膜を膨潤させ、体積が大きくなり塗膜を持ち上げます。

\*本剥離剤は塗膜を溶解するものではありません。

### ■ 第3段階



塗膜の膨張力が、素地との付着力を上回ることにより、塗膜が浮き上がり剥離します。

●剥離後は水性専用クリーナーによる洗浄を推奨します。

塗布後数時間経過状況

剥離作業状況

剥離完了



# JFEグループ 建材ナビゲーター [改訂版] ご利用に際して

本書は、お客様の利便性向上を目的として、建設用資材分野における当社、当社グループ会社および一部お取引先様の主な取り扱い製品に関する製品規格、寸法、重量等を集録しております。

お客様各位におかれましては、是非ご利用くださいますようお願い申し上げます。なお、ご利用に際しましては、以下の事項につきご了承ください。

- 本文中、製品または技術の特性・性能に関する情報等については、その代表的なものをご説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものの以外は、保証を意味するものではありません。
- 本書に掲載されている情報の誤った使用等によって生じた損害につきましては、責任を負いかねます。
- 本書の全部または一部につきましては、無断転載または複製を禁止いたします。
- 本書に記載されている製品または工法の名称は、当社、当社グループ会社および一部お取引先様の商標または登録商標、あるいは、それぞれが使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。
- 掲載内容は今後予告なく変更される場合がありますので、最新情報につきましては、巻末掲載の各社担当部署にお問い合わせください。
- 各製品または工法の詳細につきましては、製品ごとのカタログや各種技術資料等を整えておりますので、巻末掲載の各社担当部署にご用命ください。

2024年9月

JFEスチール株式会社



Cat.No.A1J-003-05

2409R(2309) JSK